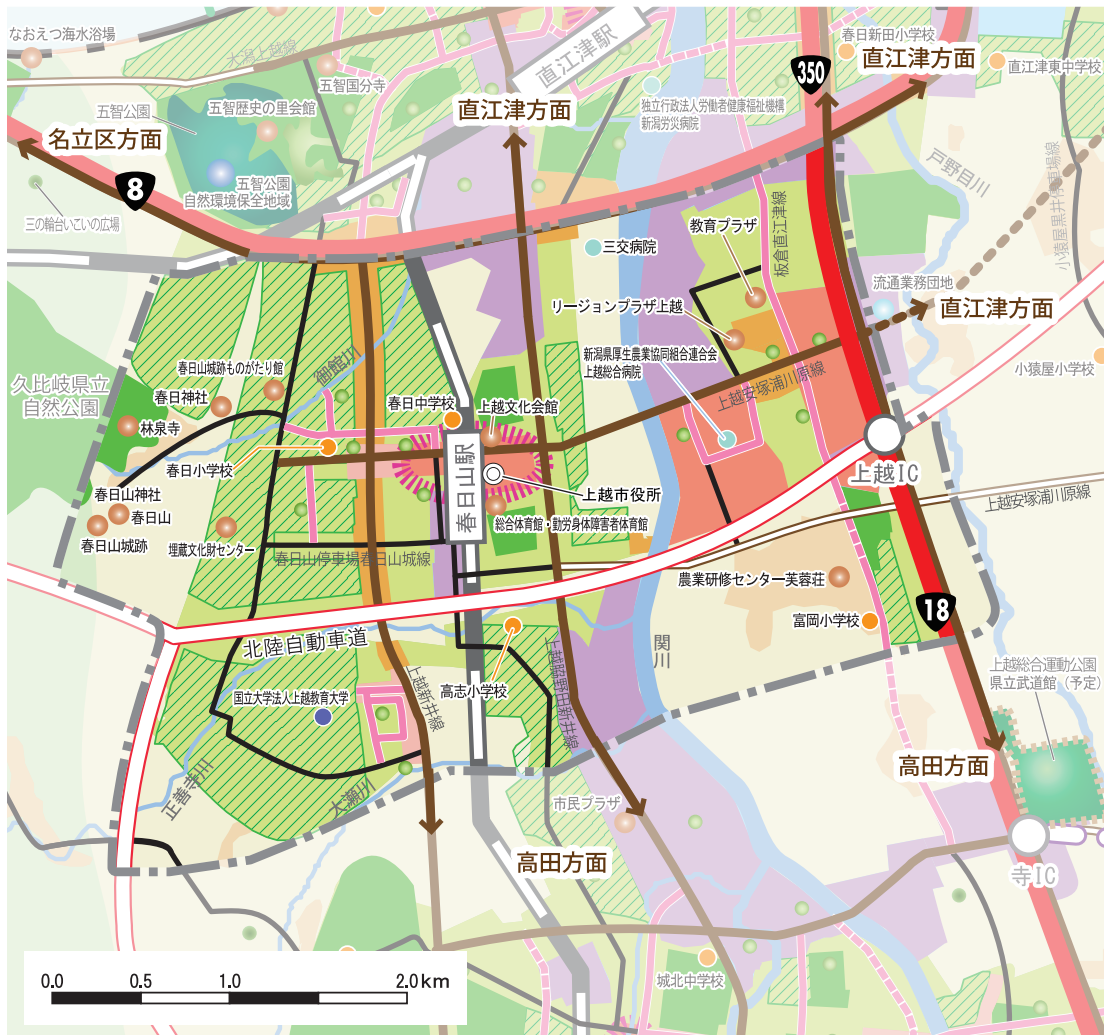
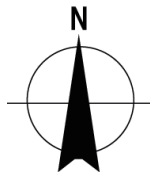


地域づくりの方針図 春日山周辺地域



凡例	
土地利用 住宅を主とする低層低密な住宅地 沿道商業混在型住宅地 工業集積地 商業集積地 田園地域 都市計画区域 生活利便施設混在型住宅地(中高層) 商業混在型高層住宅地 流通業務地 生活利便商業集積地(一部、沿道商業混在型住宅地を含む) 中山間地域 生活利便施設混在型住宅地 港湾業務地 集落	公園 広域公園 総合公園 運動公園 特殊公園 地区公園・近隣公園 街区公園 その他の公園(農村公園、広場など) 自然公園
その他 河川 自然環境保全地域 景観づくり重点区域 水道水源保護地域	交通ネットワーク 高速道路 高規格道路 主要な幹線道路 都市計画道路 都市計画道路以外 都市計画道路 その他幹線道路 ※実線は現状 点線は計画・構想 市役所・総合事務所 小・中学校・高等学校 中等教育学校 大学 工業団地 その他の施設 病院 鉄道 新幹線 駅 IC

(3) 高田周辺地域

1) 地域の概要

①位置及び都市計画上の位置づけ

- ・上越地域の高田周辺地域は、上越都市計画区域のほぼ中心部に位置し、西側には中山間地域が広がり、東側には一級河川関川が流れており、その周辺に広がる平坦地に市街地が形成されている地域です。
- ・本地域は都市計画区域*となっており、地域の大部分が市街化区域*ですが、外縁部の一部が市街化調整区域*になっています。

②まちの変遷

- ・本地域は、江戸時代初期に計画的に整備された高田城の城下町であり、北国街道の宿駅としてもにぎわいをみせ、上越地方の商業、経済、文化、教育の中心地として栄えてきました。
- ・現在に至っても街の姿は大きくは変わらず、本町通りを中心に商店や住宅が集積している地域です。

③交通ネットワーク

- ・本地域には、東側に一般国道 18 号上新バイパス、西側に上信越自動車道が通っており、柏崎市方面、糸魚川市方面や妙高市・長野県方面などとの交流・連携を支える広域ネットワークとして重要な路線となっています。
- ・本地域と周辺地域をつなぐ主な道路として、一般国道 18 号上新バイパス、一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）、主要地方道上越新井線（通称：山麓線）がそれぞれ縦断しています。また、主要地方道上越安塚柏崎線、一般国道 405 号、一般県道青柳高田線、主要地方道上越高田インター線が東西に通っています。これらの道路は、本地域と市内各地域を連絡し、日常生活や広域交流などを支える重要な路線となっています。なお、主要地方道上越新井線（通称：山麓線）は、平成 26 年 10 月 15 日に中田原から妙高市飛田までの区間（約 3km）で開通し、一般国道 8 号加賀交差点から一般国道 18 号上新バイパスの乙吉交差点までの約 13km が結ばれました。
- ・本地域の南西側には、上信越自動車道上越高田インターチェンジが配置され、本地域と市内外をつなぐ結節点として機能しています。
- ・本地域には、えちごトキめき鉄道妙高はねうまラインの高田駅・南高田駅があり、直江津方面と妙高市・長野県方面を連絡しています。
- ・本地域には、高田駅を拠点とした路線バス網が整備されており、直江津方面や新井方面などの市内各地を連絡しています。

④地域資源

- ・本地域には、高田城三重櫓、総合博物館などの観光・文化施設が集積しています。高



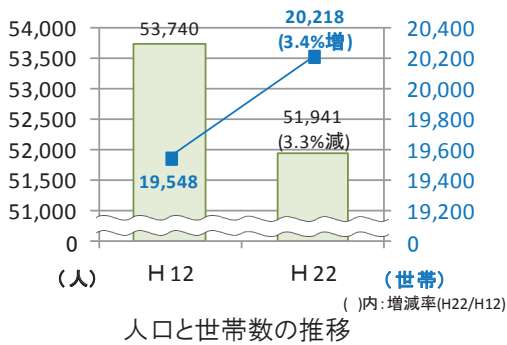
- 田公園は日本三大夜桜のひとつに数えられ、東洋一と賞されるハスが生息しています。また、地域西側には日本スキー発祥の地である金谷山公園などの観光資源があります。
- ・ 本地域では、雪国の暮らしを象徴する雁木や、浄興寺を有する寺町などの歴史的なまちなみが形成されています。
 - ・ 一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）沿道には、様々な市民活動の場となる市民プラザがあります。
 - ・ 一級河川関川より東側には、新潟県立中央病院、新潟県立看護大学があります。また、上越魚沼地域振興快速道路*の整備予定地と隣接して上越総合運動公園があり、将来的には県立武道館（予定）が整備される予定です。



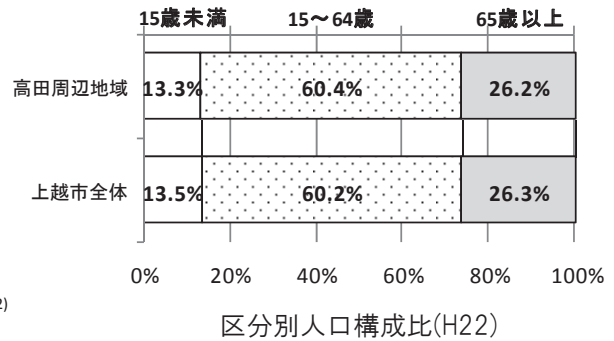
高田公園



雪国の暮らしを象徴する雁木



人口と世帯数の推移



区分別人口構成比(H22)

高田周辺地域に関するデータ

- 総面積：約 22 km²（約 2%）
- 総人口：51,941 人（約 26%）
- 世帯数：20,218 世帯（約 28%）
- 15 歳未満の人口比率：約 13%
- 高齢化率：約 26%
- 人口増減率（H22/H12）：約 3%減

出典：平成 22 年国勢調査に基づき集計
※()内は市全体に占める割合

2) 地域の現状と課題

- 本地域においては、上越市の中心地としての歴史的背景や、これまでに整備された道路、下水道などの都市基盤*、高田公園などの既存の地域資源を有効にいかすとともに、上越魚沼地域振興快速道路*や上越総合運動公園などの整備進展や今後の社会経済情勢の変化に合わせた地域づくりが必要です。
- 高田駅周辺に広がる市街地においては、商業、医療、福祉、観光、文化、交通、流通業務などの多様な都市機能*が集積する地の利をいかすとともに、都市機能*が利用しやすい魅力的な居住の場を提供するなど、暮らしやすい居住環境及び都市機能*の維持・形成に取り組むことが必要です。
- 雪国の暮らしを象徴する雁木、浄興寺を有する寺町などの歴史的なまちなみなど、上越市を代表する歴史・雪国文化を象徴する景観の形成・保全に向けて、引き続き取り組むことが必要です。

①土地利用・拠点の現状と課題

- ・ 高田駅周辺は、上越市の中心地として古くから栄え、商業、医療、福祉、観光、文化、交通などの多様な都市機能*が集積し、その周辺部に住宅地や流通業務地が広がっています。
- ・ 高田駅周辺の既成市街地*では人口減少や空き店舗・空き家の発生などが進んでいることから、今後は、商業、医療、福祉、観光、文化、交通などの多様な都市機能*を有する地の利をいかしながら、暮らしやすい居住環境及び都市機能*の維持・形成を図るための土地利用を進める必要があります。
- ・ 本地域は、古くから市街地が形成され、道路や下水道などの都市基盤*の整備が比較的進んでいます。これらの既存の都市基盤*を有効にいかすため、市街地の無秩序な土地利用を抑制するとともに、既に集積している都市機能*やまちの歴史的価値をいかした土地利用を引き続き検討する必要があります。
- ・ 本地域の市街化調整区域*には、農地が広がる中に集落が点在しています。今後は、集落及び農業環境の維持を図るため、市街化調整区域*においては、農業環境の維持と暮らし続けられる居住環境のための適正な土地利用が必要です。
- ・ 上越魚沼地域振興快速道路*の整備により魚沼方面からの新たな玄関口となる寺インターチェンジ周辺については、今後の道路整備の進捗状況や地域のニーズなどを考慮してゲートウェイとしての位置づけを視野に、ふさわしい機能の整備・誘導を検討することが必要です。
- ・ 高田駅周辺は、商店街、病院、学校などが集積し、更にその周辺には市民プラザ、新潟県立中央病院、新潟県立看護大学などの多様な都市機能*が集積しています。今後、都市拠点の維持・形成のため、高田駅周辺における都市機能*の維持・形成に取り組むことが必要です。

②道路・交通ネットワークの現状と課題

- ・ 本地域では、既成市街地*などにおいて安全な道路空間の確保が必要な箇所や未整備の都市計画道路*があります。
- ・ 今後、本地域における地域住民の日常生活や産業活動を支えるため、また本地域と各拠点の交流・移動を支えるため、国道・県道及び上信越自動車道などの安全・安心な道路ネットワークの確保に取り組むことが必要です。
- ・ また、地域内における日常生活を支えるため、地域の実情に配慮して、安全・安心な生活道路*の確保が必要です。
- ・ 地域公共交通*の利用者は減少し、その維持・存続が年々厳しくなっています。今後は、高齢化の進行により地域公共交通*を必要とする市民が増加すると推察されることから、日常生活を支える公共交通の維持・確保が重要となります。
- ・ 特に、都市機能*が集積している本地域においては、市街地への移動実態、ニーズに合った公共交通体系の構築が必要です。
- ・ あわせて、北陸新幹線開業により、今後は来訪者の増加を見据えて、北陸新幹線の上越妙高駅と市内各地を結ぶ公共交通の整備が必要です。

③高田公園の現状と課題

- ・ 高田公園は、市民の散策や憩いの場となっており、また様々な観光イベントが開催されるなど、市内外から多くの人たちが訪れる交流の場となっています。今後も、高田公園を憩いと交流の場として魅力向上を図るため、高田公園の機能強化に取り組むことが必要です。

④上越総合運動公園の現状と課題

- ・ 本地域の東側に隣接し、上越魚沼地域振興快速道路*の寺インターチェンジに近接する上越総合運動公園は、計画面積 24.3ha のうち、5.4ha が供用されています。広域交流を更に充実させるため、今後の県立武道館（予定）の整備計画の進展にあわせ、上越総合運動公園の魅力を高める整備の推進が必要です。

⑤都市景観に関する現状と課題

- ・ 上越市を代表する歴史・雪国文化を象徴する景観の形成・保存に向けた様々な取組が進められてきました。今後も、引き続き取組を進めることが必要です。

⑥安全・安心なまちづくりの現状と課題

- ・ 本地域の市街地には、都市計画下水道区域が指定されていますが、未整備の箇所が残っています。今後、良好な住環境の形成を推進するため、大貫地区などの地域西側などにおける公共下水道の整備・普及を進めることが必要です。
- ・ 一級河川*の関川、青田川などについては、河川整備や維持管理などの治水対策が引き続き必要です。

- ・災害に強いまちづくりを進めるため、引き続き安全・安心に暮らせる住まいの形成や、災害時の助け合い・避難所の運営を行う自主防災組織*の編成など、防災・減災対策を検討する必要があります。
- ・空き家については、適正な維持管理が行われず、そのまま放置すれば倒壊など保安上危険となったり、衛生上有害となる恐れが懸念されるため、その対策が必要です。
- ・雁木は主に冬季の通路を確保するために家屋の一部やひさしなどを延長したのですが、雁木の老朽化などが進んでいることから、雁木を引き続き維持するための取組が必要です。

⑦都市環境の保全に向けた現状と課題

- ・近年、従来の工場など産業活動に起因する苦情に加えて、住居系の地域で発生する騒音などの苦情や飲食店やサービス業の悪臭苦情など、公害苦情が多様化しています。そのため、生活環境の維持・向上に引き続き取り組む必要があります。

3) 本地域が担う役割

『商業、医療、福祉、観光、文化、交通、居住、流通業務などの多様な機能を担う地域』としての役割を担います。

4) 地域づくりの方針

- これまでに整備された都市基盤*をいかすため、市街地における良好な住環境の形成、市街地の無秩序な拡大の抑制などのめりはりのある土地利用、憩いと交流の場となる高田公園の機能強化などを進めるとともに、上越魚沼地域振興快速道路*や上越総合運動公園などの整備進展、社会経済情勢の変化などに伴う新たな地域のニーズに応じた土地利用などを検討します。
- 商業、医療、福祉、観光、文化、交通、居住、流通業務などの多様な機能を有する地域としての役割を果たすため、めりはりのある土地利用や都市拠点の形成などにより、公共施設や商業施設、医療・福祉施設、観光・文化施設、交通施設、流通業務施設、居住などの機能の維持・集積を目指します。
- 上越市の文化と歴史を象徴するまちなみ・景観を次世代に残すための都市景観の形成・保存に努めます。

①めりはりのある土地利用の推進

- ・ 住宅を主とする低層低密な住宅地では、閑静でゆとりある良好な住環境の形成の促進に向けた土地利用を推進します。
- ・ 特に、歴史的資源が集積する地区においては、歴史的な雰囲気と周辺環境との調和や良好な住環境の形成に向けた土地利用を目指します。
- ・ 幹線道路*の沿道では、日常生活を支える店舗や教育施設、交流施設などが身近にある暮らしやすい住環境の形成に向けた土地利用を促進します。
- ・ 一般国道 18 号上新バイパスなどの主要幹線道路*の沿道では、住環境に配慮した沿道の商業・業務施設などの立地を適正に図れるよう、身近な便利施設や良好な住環境が共存できる市街地環境の形成に向けた土地利用を促進します。
- ・ 高田駅周辺では、中高層住宅の誘導やオープンスペース*の確保などにより、本地域の様々な都市機能*をいかした利便性の高い住宅地の形成に向けた土地利用を推進します。
- ・ 流通業務地においては、上信越自動車道上越高田インターチェンジに近接する充実した環境をいかし、流通業務系施設の立地を誘導するため、地域のニーズを踏まえて土地利用の面から適切に支援します。
- ・ 流通業務地における市街地の無秩序な拡大を抑制するため、大規模商業施設の立地制限に関する土地利用規制の維持に取り組みます。
- ・ 高田駅周辺の商業集積地では、上越地域全体の商業圏域*を支える集客性の高い商業施

設や観光・交流施設などの集積を誘導します。

- ・生活利便商業集積地では、隣接する住宅地の生活環境との調和を図りつつ、日常生活に必要な小規模な日用品店舗などの立地を誘導します。
- ・市街地においては、市民が安心して快適に生活できる住環境の形成や、市街地内の低未利用地*の土地利用の促進を図るため、今後の社会経済情勢の変化や地域のニーズに応じた適正な土地利用を検討します。
- ・寺インターチェンジ周辺については、上越魚沼地域振興快速道路*の整備により魚沼方面からの新たな玄関口となることが予定されることから、今後の道路整備の進捗状況や地域のニーズなどを考慮して、ゲートウェイとしての位置づけを視野に、ふさわしい機能の整備・誘導に向けた土地利用を検討します。
- ・市街化調整区域*においては、関係分野と連携しながら、優良な農地の維持・保全や自然資源の保全に向けた土地利用を目指します。また、都市計画制度の活用を図り、集落の活力の維持・向上に向けた地域住民の主体的な取組を支援します。
- ・地域住民が身近に親しむことができる様々な自然資源や観光・文化資源の活用などにより、市内外との交流・連携を都市計画の面から支援します。

②拠点の形成

- ・医院・診療所や介護老人福祉施設、裁判所、税務署、ビジネスホテルなどの既集積している都市機能*や雁木などまちの歴史的価値をさらに高めるため、必要な都市機能*の集積や歴史的まちなみの保存・活用を促進します。
- ・歴史文化などの地域資源をいかしたまちなかの回遊性、空き店舗などの既存ストック*の活用などによるにぎわいの向上を支援します。
- ・まちなかの定住を促進するため、必要な狭隘部の拡幅や市街地再開発による住宅地整備などを検討し、居住環境の向上が図られるまちなみの形成を検討します。
- ・本地域及び上越市全体の生活利便性向上と地域活性化を図るため、本地域と各拠点との連携を支える交通ネットワークの形成を促進します。

③道路ネットワークの確保

- ・市内外との広域的な移動と交流・連携を支える広域ネットワークの形成のため、上信越自動車道の4車線化の早期実現を働きかけます。
- ・本地域と各地域を結ぶ国道・県道については、適正な維持管理や安全に通行できる道路の整備を促進します。また、冬期間の安全な通行の確保や危険箇所の改善に向けた道路整備を促進します。
- ・地域内の生活道路*では、安全な通行を確保するため、適正な維持管理や必要な整備を進めます。また、冬期間の安全な通行の確保に取り組みます。
- ・地域内各地と都市拠点を連絡する幹線道路網及び市街地内の生活道路網の形成を図るため、社会経済情勢の変化や地域での必要性も踏まえて、関係機関と連携しながら都市計画道路*の整備に努めます。

- ・長期にわたって未着手となっている都市計画道路*は、路線の必要性や事業の実現性を検証し、適正な見直しを検討します。

④公共交通ネットワークの確保

- ・将来にわたって市民の日常生活を支え、市内外の人の交流を促進するため、南北軸の路線バスの維持、重複する路線バス網の再編成などにより、市内外の人たちが利用しやすい鉄道やバスの地域公共交通網の形成を図り、維持していきます。
- ・鉄道については、利用者のニーズ（移動需要）を踏まえた運行本数やダイヤ設定などを働きかけます。妙高はねうまラインについては、上越妙高駅における北陸新幹線との乗り換えがスムーズに行えるようにダイヤの設定などへの配慮を働きかけます。

⑤憩いと交流の場となる高田公園の機能強化

- ・市民や市外から多くの観光客が訪れる高田公園は、憩いと交流の場としての魅力向上を図るため、桜の保護や育成、施設機能の充実など、計画的な整備・維持管理に努めます。

⑥スポーツ活動を軸とした交流の場としての上越総合運動公園の整備

- ・スポーツ活動を軸とした交流の場を形成し、広域的な交流をさらに促進することにより地域活性化を図るため、県立武道館（予定）の整備計画の進捗をみながら、上越総合運動公園及びその周辺も含めた整備を計画的に進めます。

⑦都市景観の保全

- ・上越市を代表する歴史・雪国文化を象徴する景観の形成・保存に向けて、地域住民と連携しながら雁木の維持・整備を促進します。

⑧安全・安心な暮らしを支える基盤の形成

- ・生活環境の改善や河川の水質汚濁防止を図るため、また集中豪雨などに伴う浸水被害を軽減するため、下水道（汚水・雨水）の整備を推進します。
- ・国・県により管理される一級河川*の関川、青田川などの河川は、適正な維持管理を推進します。また、地域内の普通河川*や雨水幹線*などについても適正な維持管理を推進します。
- ・木造建物の耐震化、克雪住宅*の普及による耐久性や住宅環境の向上などを促進するとともに、行政と地域住民が連携しながら、避難場所となる身近な公園・広場や、避難路となる生活道路*の確保を検討します。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織*の結成及び活動を支援します。
- ・放置された空き家は倒壊や火災などの危険性があることから、適切な管理や有効活用に向けた空き家対策を検討します。

- ・ 雁木の機能性や安全で安心な生活空間としての利便性の向上を図るため、市民による雁木保存・活用への取組を支援します。

⑨都市環境の保全

- ・ 産業活動に起因する騒音などの公害を防止し、生活環境の維持・向上を図るため、周辺と調和した適正な土地利用への見直しを図るなど、必要に応じて都市計画の面から支援します。
- ・ また、生活環境の維持・向上、市街地や幹線道路沿道などでの景観の形成、防災面における安全性の向上、二酸化炭素の吸収などの環境負荷低減などのため、関係分野と連携しながら、公園緑地や街路樹などの緑地空間の保全・維持管理を推進します。

地域づくりの方針図 高田周辺地域



土地利用		公園		交通ネットワーク	
住宅を主とする低層低密な住宅地	生活利便施設混在型住宅地(中高層)	広域公園	総合公園	高速道路	高規格道路
沿道商業混在型住宅地	商業混在型高層住宅地	運動公園	特殊公園	主要な幹線道路	都市計画道路
工業集積地	流通業務地	地区公園・近隣公園	街区公園	都市計画道路以外	都市計画道路
商業集積地	生活利便商業集積地(一部、沿道商業混在型住宅地を含む)	その他の公園(農村公園、広場など)	自然公園	都市計画道路	主要な幹線道路
田園地域	中山間地域			都市計画道路	その他幹線道路
都市計画区域				都市計画道路	その他幹線道路
河川	景観づくり重点区域	市役所・総合事務所	工業団地	鉄道	新幹線
自然環境保全地域	水道水源保護地域	小・中学校・高等学校	その他の施設	駅	IC
		中等教育学校	大学		
		病院	遺跡		

第4章 地域別構想 1 上越地域 (3) 高田周辺地域

(4) 上越妙高駅周辺地域

1) 地域の概要

①位置及び都市計画上の位置づけ

- ・上越地域の上越妙高駅周辺地域は、上越都市計画区域の南部に位置し、本地域の中心を一級河川矢代川、西部に一級河川青田川が南北に流れ、両川の流域を中心に、豊かな稲作地帯を支える沖積地*が大きく広がっている地域です。
- ・本地域は全域が都市計画区域*となっており、上越妙高駅・脇野田駅周辺及び一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）沿道を中心として市街化区域*が広がり、その外縁部が市街化調整区域*になっています。

②まちの変遷

- ・本地域は、農地の拡大とともに発展を進めてきました。近代となり、妙高はねうまライン、一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）沿道において市街化が進み、さらに本地域の南側において、昭和から平成にかけて流通業務機能の集積が進みました。

③交通ネットワーク

- ・本地域には、地域東側に一般国道 18 号上新バイパス、西側に上信越自動車道が通っており、柏崎市方面、糸魚川市方面や妙高市・長野県方面などとの交流・連携を支える広域ネットワークとして重要な路線となっています。
- ・本地域と周辺地域をつなぐ主な道路として、一般国道 18 号上新バイパス、一般県道上越脇野田新井線（通称：上越大通り）、主要地方道上越新井線（通称：山麓線）がそれぞれ縦断しています。これらの道路は、本地域と市内各地域を連絡し、日常生活や広域交流などを支える重要な路線となっています。なお、主要地方道上越新井線（通称：山麓線）は、平成 26 年 10 月 15 日に中田原から妙高市飛田までの区間（約 3km）で開通し、一般国道 8 号加賀交差点から一般国道 18 号上新バイパスの乙吉交差点までの約 13km が結ばれました。
- ・本地域の北西側には、上信越自動車道上越高田インターチェンジが配置され、本地域と市内外をつなぐ結節点として機能しています。
- ・本地域には、北陸新幹線とえちごトキめき鉄道妙高はねうまラインの上越妙高駅があり、北陸新幹線は長野県・東京都方面や富山県・石川県方面を連絡し、また、妙高はねうまラインは直江津方面や妙高市・長野県方面、新潟市方面を連絡しています。
- ・本地域には、南北方向に路線バスが運行しており、高田・直江津方面や妙高市（旧新井市）方面を連絡しています。
- ・また、主要地方道上越新井線（通称：山麓線）、一般県道後谷黒田脇野田停車場線、都市計画道路新幹線駅環状線などの整備が進められ、上越妙高駅へのアクセス道路として機能しています。